

<HPV (ヒトパピローマウイルス感染症) >

①	小児保健医療センターでは2価、4価、9価のうちどのワクチンを取り扱っていますか？
	→すべて取り扱い可能です。
②	1回目と2回目の接種を、別の医療機関で受けてもよいですか？
	→医療機関を変更されてもよいですが、同一のワクチンを接種する必要がありますので、必ず確認してください。
③	年度内に16歳の誕生日を迎える方でも、ワクチン接種の対象期間は3月末になるのでしょうか？
	→HPV ワクチンの対象者は、年齢ではなく学年で決められていますので、高校1年生の3月末までになります。ただし、令和6年度まではキャッチアップ接種期間となっているため、1997年4月2日から2007年4月1日までの間に生まれた人はその期間内であれば、年齢に関係なく公費で接種できます。
④	H27年に1回目接種し、その後未接種でしたが、キャッチアップ接種はどのように受ければよいですか。
	→2回目接種から3カ月の経過で3回目接種が可能です。3カ月以上あいても効果は変わりませんが、忘れないように3カ月後に計画されるとよいでしょう。
⑤	2回接種が済んでいます。3回目は未接種で1年あいているので効果が不明です。
	→定期接種の対象年齢を過ぎてもある程度の有効性が示されていますので、キャッチアップ接種を利用されることをお勧めします(③の回答参照)。
⑥	男性もHPV ワクチンを受けることはできますか。
	→4価のみ任意接種で受けることができます。